



月信 6月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 第4分区IMのご報告
- ③ 第5分区IMのご報告
- ④ 加茂RC創立60周年記念式典のご報告
- ⑤ 高橋年度 地区研修・協議会のご報告
- ⑥ 会員数及び出席報告
- ⑦ 地区主要行事予定(6月・7月)
- ⑧ 新入会員紹介
- ⑨ コーディネーターニュース
- ⑩ ハイライトよねやま560

国際ロータリー第2560地区
2021-22年度

高尾ガバナー事務所

新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



ガバナー年度を終えるにあたって

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナー

高尾 茂典 (新潟中央 RC)

新緑が眩しく花々が咲き乱れる季節を迎え、ガバナーの任期もあっという間に残り 1 か月となりました。

3 年前の秋にノミニーを拝命し早々に、神戸のロータリー研究会にて妻と 4 日間の最初の研修を受けました。そこで様々な衝撃を受け、又感動したことを鮮明に覚えております。そしてエレクトとして 1 年間様々な経験をさせていただき、ガバナースタッフ、ガバナー補佐、地区役員の皆様と多くの時間と機会を重ねながら、ガバナー年度に向け準備を進めて参りました。昨年 2 月の国際協議会で 10 日間のガバナー研修を受け、3 月の PETS、5 月の地区研修・協議会を通して地区役員、各クラブの会長・幹事、各委員長の皆様と今年度の方針を共有することができたと思っております。皆様が理解された今年度の方針を、各クラブの皆様にお伝えいただき、クラブ運営方針の中にしっかりと反映させていただき有難うございます。

昨年 7 月にガバナー年度をスタートしました。公式訪問では、全クラブの皆様と直接訪問にて、意見交換そして、年度方針をお伝えする機会を持ちたいと思っておりましたが、コロナ禍での厳しい環境が改善されることなく、地区そして各クラブとしても思うような直接訪問が叶わない状況が続いておりました。直接訪問をご了解いただけたクラブには喜んで訪問させていただき、皆様から大歓迎をいただきガバナーとしての大切な役割と責務をお伝えさせていただきました。直接訪問出来ないクラブの皆様には、オンラインでの訪問となりましたが、クラブの会長・幹事様はじめ、皆様のお考えやご意見を十分に汲み取る時間が足りなく、大変ご不便をおかけし思うような意見交換が出来なかったことをお詫び申し上げます。何とか皆様のお力添えで 11 か月務めることができましたこと感謝申し上げます。

今年度を終えての思いは改めて次号にてお話させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。



第4分区 IM 開催報告

国際ロータリー第2560地区
2021-22年度第4分区ガバナー補佐
外山 晴一（三条北 RC）

5月7日（土）に三条市のジオ・ワールドVIPで、滝沢亮三条市長、米山忠俊ガバナーノミニーに来賓としてご臨席いただき、第4分区IMを開催いたしました。今回のIMは、COVID-19感染拡大のため、昨年9月の開催予定を変更して、この日となりました。しかしながら、COVID-19は未だ収まらず、参加人数を150名以下に絞らせてもらい、懇親会もなくしてお弁当持ち帰りという変則的なIMとさせていただきます。親睦を旨とするロータリークラブとして、参加人数を制限して、且つ懇親会のないIM開催は、主催者として誠に申し訳なく残念でしたが、COVID-19感染予防のため止むを得ないと判断し、挙行了次第です。

今回のIMのテーマは、国際ロータリー会長シェカール・メータ氏のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と高尾ガバナーの地区運営方針である「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」を踏まえ、「どん底からの人生 “今、青少年や家族に言（つたえ）たいこと”」と、いたしました。このテーマに沿って、空先拓海先生から「壮絶な人生から学んだ“感謝”」という演題で講演していただき、続いてアトラクションとして、同先生より「マジックショー」を披露していただきました。滝沢市長も舞台に上がり、マジックの手伝いをされ、大いに盛り上がりました。

しかし、いくら盛り上がり、参加された皆様にお楽しみいただいたとしても、懇親会のないIMは、画竜点睛を欠く感がありました。懇親会につきましては、COVID-19が終息し、次年度には盛大に開催されますことを期待しております。

今回のIMにつきましては、COVID-19が未だ収まらず、変則的なIMでしたが、地区内の制限させていただいた人数ぴったりのロータリアンのご参加のお陰で開催できました。これはロータリアンの友情の賜物と厚く感謝申し上げます。





第5分区 IM を終えて

IM テーマ『災害予防に於けるロータリー活動の共助』

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 5 分区ガバナー補佐
笠原 廣 (長岡 RC)

国際ロータリー第 2560 地区 2021-22 年度第 5 分区 IM(インターシティミーティング) を、5 月 14 日(土)に長岡市の長岡グランドホテルで開催いたしました。

一昨年 1 月から始まった“新型コロナウイルス騒動”ですが、感染の第 6 波が充分収束しないうち、今年の GW(ゴールデンウィーク) を前に「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が全面解除されました。まさに“With コロナ”を明確に意識させられた昨今です。

第 6 波が目に見えて収束に向かわない中、IM 実行委員会の皆さんには『実施出来るか、出来ないか』と“ハラハラ”させて大変な心労をお掛けしました。そのような不安を感じながらも、しっかりと準備を進めて頂き、当日 110 名という参加者で実施出来たことに大変感謝しております。

第 1 部全体会では、初めての試みとして“要約筆記サークル”の皆さんの協力を得て、音声情報を文字で伝える『要約筆記』を取り入れての実施で進めました。そして、コロナ対策にも十分注意しながらの進行です。

基調講演では、IM テーマとして『災害予防に於けるロータリー活動の共助』を取り上げ、“地域防災”では、第一人者である“長岡造形大学 准教授の福本壘先生”から『企業による共助「業助」』『～災害に備えるために企業がすべきこと～』についてご講演頂きました。突然訪れる自然災害を予知することは非常に難しいことですが、被害を最小限に抑えるため《予め防災の準備》を進めておくことについて大いに勉強させて頂きました。

ご講演を頂いた後に全員で「ワークシート」への記入を実施し、後日“福本研究室”で集約・分析を行い、分析結果をフィードバックして頂けるとのこと、大いに期待しております。

第 2 部懇親会では、『オールディーズのナンバーで多いに楽しもう』をテーマに、「まん延防止等重点措置」で“うっ積した気持ち”から解放され『多いに懇親を図れるように!!』と企画いたしました。昔懐かしい“カントリーウェスタン”“リズム&ブルース”“ジャズ”“ロック”などの生演奏を聴きながらテーブル単位での懇親を深めて頂きました。



要約筆記スタッフのみなさん



「あらたなスタート未来を開く ハートウォーミング 60 周年」

加茂ロータリークラブ
会長 石附 孝子

5月14日、加茂ロータリークラブは、60周年記念式典を開催しました。2年越しの計画です。COVID-19感染拡大に伴う延期が3度重なり、実行委員長森山さん、総務委員長三浦さんは眠れない夜が何度もあったようです。本当にお疲れ様でした。

当日は、加茂市長藤田明美様、加茂商工会議所会頭木戸信輔様、第4分区ガバナー補佐外山晴一様をはじめ近隣のロータリークラブの皆様、その他ご来賓の皆様、会員のパートナーの皆様にご臨席を賜り、厳粛な中にも温かい雰囲気の中で式典が行われたと思います。

登録開始時刻の2時間前に集合してのリハーサル。とても真剣に行われ、リハーサルで感謝しておりました。

国際ロータリー第2560地区2021-22年度高尾茂典ガバナー様、地区幹事浅妻信様のご臨席はスケジュールの都合でかないませんでした。高尾ガバナーよりお祝いのメッセージを頂き、ガバナー補佐外山様にて代読ご披露頂きました。そこには国際ロータリーの活動に向き合う熱い思いが綴られており、加茂クラブに対しての激励を沢山受け取りました。おいで頂き直接お話をさせて頂きたかったです。

加茂市長藤田明美様には、60周年記念事業の「かも応援花火」のお礼の言葉を頂き、未だ収束しないCOVID-19感染状況における医療従事者の日々の活動に労いの言葉をお話されました。

式典終了後、記念講演が行われ、株式会社組織デザイン松崎俊道様より「KAIZENは幸せへの道」との演題で、コロナ禍における心のKAIZENは幸せへの道であり、ナイス・コミュニケーションの勧めについてお話頂きました。

記念祝賀会では、ジャズ演奏をBGMに、式典が無事行えた達成感でほのぼのとした祝宴が行えました。記念品で用意させて頂いた品は加茂の花びら染めの製品で、椿の花びらで染色されて淡いピンク色の作品になっております。手に取った時にきっと誰もが笑顔になれるものと願っています。

60周年記念式典が滞りなく行えることができ、関わって下さった全ての皆様へ心から感謝申し上げます。





地区研修・協議会 御礼

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 地区研修・協議会実行委員長

高橋 秀松 (新潟 RC)

5 月 21 日、国際ロータリー第 2560 地区 2022-23 年度「地区研修・協議会」がホテルオークラ新潟にて開催されました。

今年も COVID-19 感染対策上、ハイブリッド形式での開催となりました。会場での参加者は約 180 名、オンラインでの登録者は 500 名近くの研修会となりました。ご参加いただいた皆様、オンラインで登録いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

事前にセッションごとに収録した内容を YouTube にて視聴いただき、当日は、第 1 セッション (zoom による配信) と全体会議 (YouTube による配信) を、IT を駆使した形で開催しました。全体会議では、佐藤真地区研修リーダーより本協議会の目的について、また、高橋秀樹ガバナーエレクトからは、国際協議会報告並びに新年度地区運営方針のお話を頂きました。基調講演では、2021-22 年 RI 研修リーダー菅原裕典様より「ロータリーと多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) ～地区の DEI について考える～」と題して講演をいただき、参加者それぞれがロータリーの魅力について感じ入ったようです。各セッション発表では、各委員長から、事前に寄せられた質問に答える形で、それぞれの委員会の活動方針の説明がありました。

その後の懇親会では、懐かしいウエスタンバンドの演奏で、和気あいあいと時間が過ごされ、アクリル板越しではありますが、次年度のクラブリーダー間の親睦が図られたものと思っております。

最後に、with コロナの中、試行錯誤の運営となり、登録も複雑となり分かりにくい部分もあったかと思えます。ご参加いただいた皆様にお詫びするとともに、ご支援ご協力をいただいた方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



第2560地区 2021-22年度4月末 会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	372	378	34	6
新発田	4	28.3%	93	92	0	-1
村上	4	17.5%	38	40	9	2
水原	3	21.9%	32	32	1	0
中条	4	100.0%	41	45	3	4
新発田城南	4	21.6%	40	37	3	-3
豊栄	4	12.5%	20	24	2	4
新発田中央	4	4.4%	44	45	4	1
中条胎内	4	51.4%	36	37	7	1
村上岩船	2	23.1%	28	26	5	-2
第2分區(9クラブ)	／	-	433	443	26	10
新潟	4	25.6%	82	86	2	4
新潟東	4	16.9%	62	64	8	2
新潟南	4	32.7%	105	107	3	2
佐渡	1	80.0%	6	5	0	-1
新潟西	3	50.0%	39	40	2	1
佐渡南	1	12.2%	40	41	4	1
新潟北	4	27.0%	37	37	0	0
新潟中央	4	38.1%	21	21	0	0
新潟万代	4	52.4%	41	42	7	1
第3分區(6クラブ)	／	-	97	103	6	6
新津	4	11.8%	17	18	1	1
村松	4	63.6%	12	11	0	-1
五泉	4	0.0%	11	11	1	0
白根	3	28.1%	29	32	1	3
新津中央	3	28.0%	22	25	3	3
阿賀野川ライン	4	0.0%	6	6	0	0
第4分區(11クラブ)	／	-	366	361	27	-5
三条	4	12.3%	56	57	0	1
燕	4	9.4%	34	32	2	-2
加茂	3	8.6%	33	35	6	2
三条南	4	15.4%	44	38	2	-6
分水	4	79.3%	29	29	4	0
見附	3	4.8%	21	21	1	0
吉田	2	6.7%	28	30	3	2
三条北	3	8.8%	58	57	2	-1
巻	5	0.0%	25	24	3	-1
田上あじさい	4	14.3%	7	6	1	-1
三条東	4	6.3%	31	32	3	1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	296	296	24	0
長岡	4	77.3%	45	44	3	-1
柏崎	3	2.5%	41	40	0	-1
長岡東	3	28.8%	52	52	3	0
柏崎東	2	17.4%	45	46	3	1
栃尾	3	12.0%	25	25	0	0
長岡西	3	20.0%	50	50	3	0
柏崎中央	2	23.1%	38	39	12	1
第6分區(6クラブ)	／	-	122	125	10	3
十日町	3	28.1%	32	32	4	0
小千谷	4	10.3%	30	29	3	-1
雪国魚沼	4	20.0%	20	24	2	4
十日町北	3	0.0%	18	18	0	0
津南	4	18.8%	16	16	1	0
越後魚沼	4	16.7%	6	6	0	0
第7分區(7クラブ)	／	-	312	321	23	9
高田	4	32.0%	72	75	5	3
直江津	3	32.4%	69	68	6	-1
新井妙高	3	11.1%	31	36	1	5
糸魚川	3	69.8%	41	43	3	2
高田東	4	66.7%	36	36	3	0
糸魚川中央	3	55.6%	28	27	0	-1
越後春日山	4	94.6%	35	36	5	1

クラブ数	55	クラブ
7月1日 会員数	1,998	人
4月末 会員数	2,027	人
女性会員数	150	人
純増減会員数	29	人
My Rotaryアカウント登録率	28.2	%

※先月号の訂正

3月末日会員数

糸魚川IRC(43名⇒41名)

2560地区合計(2,012名⇒2,010名)

地区主要行事予定

2022年5月28日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2022年 (R4) 高尾年度	6月	ロータリー親睦活動月間			
		4~8	(土~水)	RI国際大会	ヒューストン(米国テキサス州)
		5	(日)	ローターアクト地区協議会	オンライン
		18	(土)	ロータリー奉仕デー	新潟県内
		18~19	(土~日)	日本青少年交換研究会・熊本会議	くまもと森都心
		19	(日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒
		25	(土)	柏崎中央RC創立20周年記念式典・祝賀会	市民プラザ・柏崎産業文化会館
		26	(日)	第2分区IM (片山G補佐・新潟東)	ANAクラウンプラザホテル新潟
2022年 (R4) 高橋年度	7月	1	(金)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京都内
		9	(土)	危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
		9	(土)	高尾年度感謝の集い	ANAクラウンプラザホテル新潟
		16~17	(土~日)	インターアクト年次大会 (ホストクラブ:新潟RC)	
		23	(土)	地区補助金オリエンテーション	万代シルバーホテル
		30	(土)	ガバナー補佐会議	ホテルオークラ新潟
		30	(土)	会員増強セミナー	ホテルオークラ新潟

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
佐渡南	木村 太一	2022.04.01	第一生命保険(株)新潟支社佐渡営業 オフィス	オフィス長	生命保険
白根	栗林 一秀	2022.04.07	有限会社 晃祥園	工事主任	造園業
水原	山口 哲也	2022.04.13	はばたき信用組合阿賀野支店	支店長	金融業
燕	大泉 一高	2022.04.21	(株)大泉物産	代表取締役社長	カトラリー・器物製造販売
新発田	鈴木 拓志	2022.04.25	(株)きらやか銀行 新発田支店	支店長	第二地方銀行
中条	伊藤 敏樹	2022.04.27	伊藤塗装	代表	建築塗装業
巻	鈴木 貞男	2022.05.01	(株)マルソー・トランスポート	取締役顧問	運送
新発田	高野 善之	2022.05.09	岡三にいがた証券(株)新発田支店	支店長	証券業
直江津	山岸 孝博	2022.05.10	有限会社 新興運輸	代表取締役	運輸業



ロータリーの魅力とは

私たちがロータリーに入会し、会員であり続けるのは、ロータリーに対して何らかの魅力を感じているからでしょう。ロータリーに魅力がなければ、入会もしませんし、会員であり続けることはできません。その魅力をどうとらえるかはロータリアン一人ひとりにより異なるかもしれません。

私はロータリーの魅力について問い直すにあたり、あらためてロータリーの本質を正しく再認識することが欠かせないと考えます。ロータリーのCore Values(中核的価値観)にこそロータリーの本質があると理解します。

1. Service: 人のために良心をもって行う行為・行動すべてであり、ロータリーでは社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕と分類されます。ロータリーならではの奉仕の理想や超我の奉仕をさせていただくことに魅力を感じます。
2. Fellowship: 奉仕の理念に集う私たちロータリアンはいわば同志であり、志を同じくする仲間であります。その仲間を大切に思う心を育て、ともにロータリーの目的に向かう原動力となるロータリーならではの親睦に魅力を感じます。
3. Leadership: 世界中の多種多様なリーダーの集まりの中で、相互に啓発されて、そのリーダーシップを学び磨きあうことのできる例会や研修などの多種多様なプログラムを備えるロータリーのメンバーであることに魅力を感じます。
4. Integrity: 人としての在り方としての大切な芯となる、誠実・真摯・信念・品位・法令順守など高潔性に大きな価値を置き、自分磨きができるロータリアンとしての自覚と誇りが持てることに対して魅力を感じます。
5. Diversity: 国・民族・宗教・言語・人種・性別・職業・年齢などの多様性を受け入れて認め合うだけでなく、Equity(公平) Inclusion(包摂性)の概念をとりいれて、誰一人として取り残すことのない世界をともに目指すことに魅力を感じます。

これら5つの中核的価値観をもとに、「私たちロータリアンはお互いに手を取り合って行動に移すことで、国際社会や地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出す世界を目指す」(ロータリーのビジョン声明)に対して大きな魅力を感じます。ロータリーはまさに、人としてのより良き生き方を学び成長することができる道場であり、世界平和をめざす実践哲学でもあります。このようなロータリーとの出会いに感謝してあらためてロータリーを学び、実践し、発信し、ロータリーを楽しみたいと思います。今まさに、ロータリーの魅力を再認識したうえで、時代の変化に適應した会員維持と会員増強が望まれます。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成(あすかRC)



2021-22年度もあと1カ月

2020年1月15日に日本で最初のCOVID-19感染者が確認されて2年5ヶ月が過ぎましたが、未だ多くの感染者が確認されています。この間、ロータリー活動も制限され、例会やロータリーの会合の多くが、ZOOMを使ったオンラインでの会合やオンラインとインパースンを合わせたハイブリッド会合となりました。

そして、北京冬季オリンピックが閉会した4日後の2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻するという予想もしない出来事が起こりました。ロータリーの究極の目的が「世界平和」であることを考えると、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを願ってやみません。国際ロータリーは、早速2月25日にウクライナ情勢に対する声明を発出し、ロータリー財団はウクライナから避難する人々への人道支援のためにロータリー災害救援基金を募り人道的救援活動に活用していきます。そして、その額は1,450万ドル(5月12日更新)となっています。ロータリアンの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、2021-22年度もあと残すところわずかととなりました。この時期になると、年度初期に決めたロータリー財団の目標の達成の可否が気になります。特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」は毎年地区ロータリー財団委員長を悩ませる懸案事項です。幸い去年は皆様のご努力で日本の第1地域から第3地域のすべてのクラブが寄付をしていただき「年次基金ゼロクラブゼロ」を達成しました。ご存知のように年次基金への寄付は3年後の地区の地区補助金の財源となる貴重な資金です。この財源を利用して各地区の多くのクラブがプロジェクトを企画立案し、戦略計画に基づいてクラブの活性化を図ることが出来ます。皆様がロータリー財団の年度目標について、今一度ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

毎年日本のロータリー財団の目標はRRFCが策定することになっています。毎年国際ロータリー日本事務局財団室からの財団室NEWS 4月号に掲載されます。今年も次年度R財団目標が掲載されました。年次基金への寄付額目標は150ドル/ロータリアンですが、実はこの財団目標がクラブのレベルまで周知されていないことが、往々にしてあるのです。地区財団委員長の皆様には是非クラブレベルでの周知にご協力をお願いしたいと思います。

次年度はこれを踏まえ、地区財団委員長とロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)との合同会議を企画したいと思います。

第3地域の11地区では4月現在昨年同月比で8地区の寄付が昨年を上回りました。多くのご理解をいただき、コロナ禍の中にも関わらずご支援いただいたことに感謝申し上げます。更なるご理解をお願いいたします。

第3地域 RRFC 永田 壮一(熊本城東RC)



1. 米山梅吉翁の合同墓参

関東にある4学友会会長と学友が4月23日、米山梅吉翁の墓参のため、横浜市鶴見区の総持寺を訪れました。

この合同墓参は2018年に第2580地区（東京都・沖縄県）と第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）が始めたもので、その後、コロナ禍のため中断。今年再開するにあたって近隣地区にも声を掛け、上記2学友会の会長・学友・奨学生に加えて、第2750地区（東京都）・第2780地区（横浜市・川崎市を除く神奈川県）の各学友会会長、第2590地区米山委員2人の計15人が参加し、墓所の清掃と供花、総持寺内の見学をしました。

今回は初めて4学友会の会長が揃って梅吉翁の墓参をしたということで、それ

ぞれがこの奨学事業の始まりに思いをはせ、今後の学友会を活発にしたいという気持ちを新たにしました。



2. 寄付金速報 —ほぼ前年同期比並みで推移—

4月までの寄付金は前年同期と比べて0.3%減（普通寄付金:0.9%減、特別寄付金:0.1%増）、約300万円の減少となりました。ほぼ前年度と同様の水準で推移しています。今年度もあと残り1カ月半です。なかなかコロナ禍以前のよう

に寄付が大きく増額に転じることはありませんが、クラブの例会や地区大会も開催され始め、いったん止まったロータリー活動も再稼働しつつあります。引き続き今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

3. 博士号取得状況

2021-22学年度に博士号を取得した奨学生・学友は60人、これまでの累計は3,915人となりました（5月9日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約2週間かかります

申請方法

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281/email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

時計が
リニ
ュー
アル



文字盤の裏に氏名を刻印

4. 米山がオンラインでつなぐ日本とミャンマー

東京米山ロータリーEクラブ 2750 の活動の一つに「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金で、ミャンマーの若者へ教育支援をするもの。毎年行われる現地での面接選考は、ミャンマー米山学友会が協力しています。

4月17日、今年の田中作次奨学生たちとミャンマー米山学友会有志、そして日本のロータリアンや現役米山奨学生が交流する「ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生 日本語CAFÉ」がZoomで開催され、総勢50人が参加しました。進行は日本語とビルマ語で行い、日本語運用レベル別に5グループに分かれ、「日本語を学ぶ理由」などのテーマを決めて交流しました。

主催した東京米山ロータリーEクラブ 2750の肖慧潔会長（東京白金RC）は、「ミャンマー在住の田中作次奨学生にとって、奨学金という金銭的支援だけでなく、実際に日本人や日本で学ぶ留学生と交流することが何よりも大き



な励みになったと思います。私たちのクラブには外国語学習・指導経験のある会員が多く、会員の職業奉仕にもつながりました」と、活動の意義を述べました。

今回の日本語CAFÉは今後も継続的に開催したいとしており、併せて同クラブで開発中の「非漢字圏の日本語学習者のための生活支援漢字アプリ」によって、一人でも多くの日本語学習者への支援を進めていくとのことでした。

5. 大牟田から巣立った日台の懸け橋

1998年から1年間、大牟田RCの米山奨学生だった林郁慧さんは現在、台北駐日経済文化代表処（台湾の日本における外交の窓口機関）で政務部次長を務めています。当時はカウンセラーの圓佛洋右氏と家族ぐるみで交流し、地元のお祭りやイベントに連れ出してもらったのが良い思い出と話します。また、優しく温かい大牟田RCの方々に迎えられ、異国にひとりでやってきた寂しさも乗り越えることができたそうです。



カウンセラーの圓佛洋右氏（右）と林郁慧さん

＜林郁慧さんより＞

大牟田RCでは、さまざまな分野の最前線で活躍されている方々から貴重なお話を聞くことで、特に社会人としての振る舞いや話し方を学ぶことができました。ここでの経験は人生に対する理解や考え方などをとても豊かにしてくれました。

九州大学卒業後、台湾外交部の試験に合格し、台湾と日本の懸け橋になるという当時の目標を叶えました。私はロータリアンに感謝するとともに、今後も米山学友として社会に恩返しして、両国の友好関係をさらに一層促進できるように努力をしていきます。

台湾と日本の懸け橋を目指す米山の後輩たちには、ロータリーの世界で大切にされている「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」という言葉を胸に頑張ってもらいたいと思います。米山奨学生や学友の皆さん、世界平和のために各分野で一緒に努力していきましょう！